

特定規模電気事業者

不勉強で、電気事業者といえば、北海道電力、東北電力、東京電力等の事業者と、原発をやっている、電源開発、日本原子力発電のことだと思っていました。

東京電力等は、「一般電気事業者」で、電源開発、日本原子力発電は、「卸電気事業者」というそうで、この他、「卸供給事業者」、「小規模な発電を行う事業者」、「特定電気事業者」、「特定規模電気事業者」等が、日本の主な電気事業者だそうです。

PPS(Power Producer and Supplier)とも言われる「特定規模電気事業者」とは、特別高圧・高圧受電による契約電力 50kW 以上の需要家へ、一般電気事業者が管理する送電線を通じて小売りを行う事業者と定義されています。

先日、朝日新聞の報道にありましたが、私の住む立川市では、運営する立川競輪場の電力を、東京電力から、この PPS のある会社に契約変更したところ、電気代が前年比27%も節約できたとありました、早速今年度は、小中学や、学習館等の電力は複数の PPS(平成 23 年 6 月現在 38 社ある)に契約変更するようです。

EV(電気自動車)が家庭用電源に

EV は電力を蓄積し、自力で移動できるため、「電気のタンクローリー」とも言われていますが、移動用電源や災害用、非常用電源、家庭用電源として使う取り組みが各自動車メーカーで進行中です。

トヨタは 2012 年に発売予定の電池容量 5.2kW のプリウス プラグインハイブリッドにサービスコンセントを設置、三菱は電池容量 16kWh の i-MiEV を交流 100V の家庭用電源として使うためのアダプター技術を開発している、日産のリーフは電池容量が 24kWh、家屋と自動車間で相互に電力をやりとりする技術開発を優先にするようです、それにしても、搭載する電池は大容量で、従来の 12V 自動車用電池とは大違い。

携帯電話の発ガン性

先日、新聞などで報道された、携帯電話の電磁波による発ガン性についての話、今回 WHO が取り上げたことで、大きく報道されることになったようです。

今の携帯電話はアンテナは内蔵となり、通話時は、脳の直近で GHz帯の電磁波が発射されるのですから、素人的に考えてもあまり良いわけは無いと思います。

私は、長時間通話することは無い(トータルでも)ので、影響はほとんど無いと思いますが、発ガンよりも、これ以上脳が壊れたら大変です、平均寿命までもう少しとはいうものの、もうしばらくは壊れかけた脳をいたわりつつ長持ちさせないといけません hi

文明の利器にもデメリット部分は多く、考えさせられます。